

分野（領域）	専門分野Ⅱ 【小児看護学】	科目名	小児看護学概論
単位（時間）	1（15時間）	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	専任教員		
科目目標	1. 現代の子どもと家族の状況をとらえ、小児看護の役割と課題を学ぶことができる。 2. 子どもにとっての家族とは何かを理解するとともに、家族の特徴とアセスメントの必要性を学ぶことができる。 3. 小児各期の成長・発達にかかわる知識について学ぶことで、子どもを理解し効果的な支援を提供できる基盤を学ぶことができる。 4. 小児の発達段階の栄養の特徴と、食事を通じた子どもの健全育成を図ることの重要性を学ぶことができる。 5. 発達段階各期の子どもの成長・発達、健康、家族、看護について理解することができる。 6. 子どもと家族を取り巻く社会について学ぶことができる。		
【講義内容】 小児看護概論 第1章 小児看護の特徴と理念 A. 小児看護の目ざすところ B. 小児と家族の諸統計 C. 小児看護の変遷 D. 小児看護における倫理 E. 小児看護の課題 第2章 子どもの成長・発達 A. 成長・発達とは B. 成長・発達の進み方（一般的原則） C. 成長・発達に影響する因子 D. 成長の評価 E. 発達の評価 第3章 A. 子どもにとっての栄養の意義 B. 子どもと食育 C. 食事摂取基準 D. 発達段階別の子どもの栄養の特徴と看護 第4章 B. 乳児 第5章 A. 幼児 B. 学童 第6章 思春期・青年期の子ども ①形態的特徴②身体生理的特徴③知的・情緒（心理）的・社会的機能④生活の特徴⑤心理・社会的適応に関する課題 ⑥飲酒・喫煙⑦性に関する健康問題⑧反社会的・逸脱行動⑨事故・外傷⑩思春期の看護 第7章 家族の特徴とアセスメント A. 子どもにとって家族とは B. 家族アセスメント 第8章 子どもと家族を取り巻く社会 A. 児童福祉 B. 母子保健 C. 医療費の支援 D. 予防接種 E. 学校保健 F. 特別支援教育 G. 臓器移植法 小児臨床看護総論 第1章 病気・障害を持つ子どもと家族の看護 A. 病気・障害が子どもと家族に与える影響 B. 子どもの健康問題と看護 第2章 A. 入院中の子どもと家族の看護 B. 外来における子どもと家族の看護 C. 在宅療養中の子どもと家族の看護 D. 災害時の子どもと家族の看護 第3章 子どもにおける疾病の経過と看護 A. 慢性期にある子どもと家族の看護 B. 急性期にある子どもと家族と看護 C. 周手術期の子どもと家族の看護 D. 終末期の子どもと家族の看護			
【テキスト／参考文献】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論[1]			
【評価】 学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			